

# 「駅前放置自転車等の現況と対策—令和2年度調査—」について — 調査結果の概要 —

※自転車等・・・自転車及び原動機付自転車

※自転車等駐車場・・・自転車、原動機付自転車及び自動二輪車の駐車場で、不特定多数の者が利用可能なもの

## 1 駅周辺における自転車等の放置状況 【図-1】参照

都内の駅周辺（駅から概ね半径 500m以内の区域）における自転車、原付及び自二を含む乗入台数（放置台数と自転車等駐車場の駐車台数の合計）は 539,998 台でした。このうち、自転車の乗入台数は 522,409 台で、**96.3%(502,922 台)**が自転車等駐車場に駐車され、残りの **3.7%(19,487 台)** が路上などに放置されていました。

### (1) 自転車、原動機付自転車及び自動二輪車の放置台数

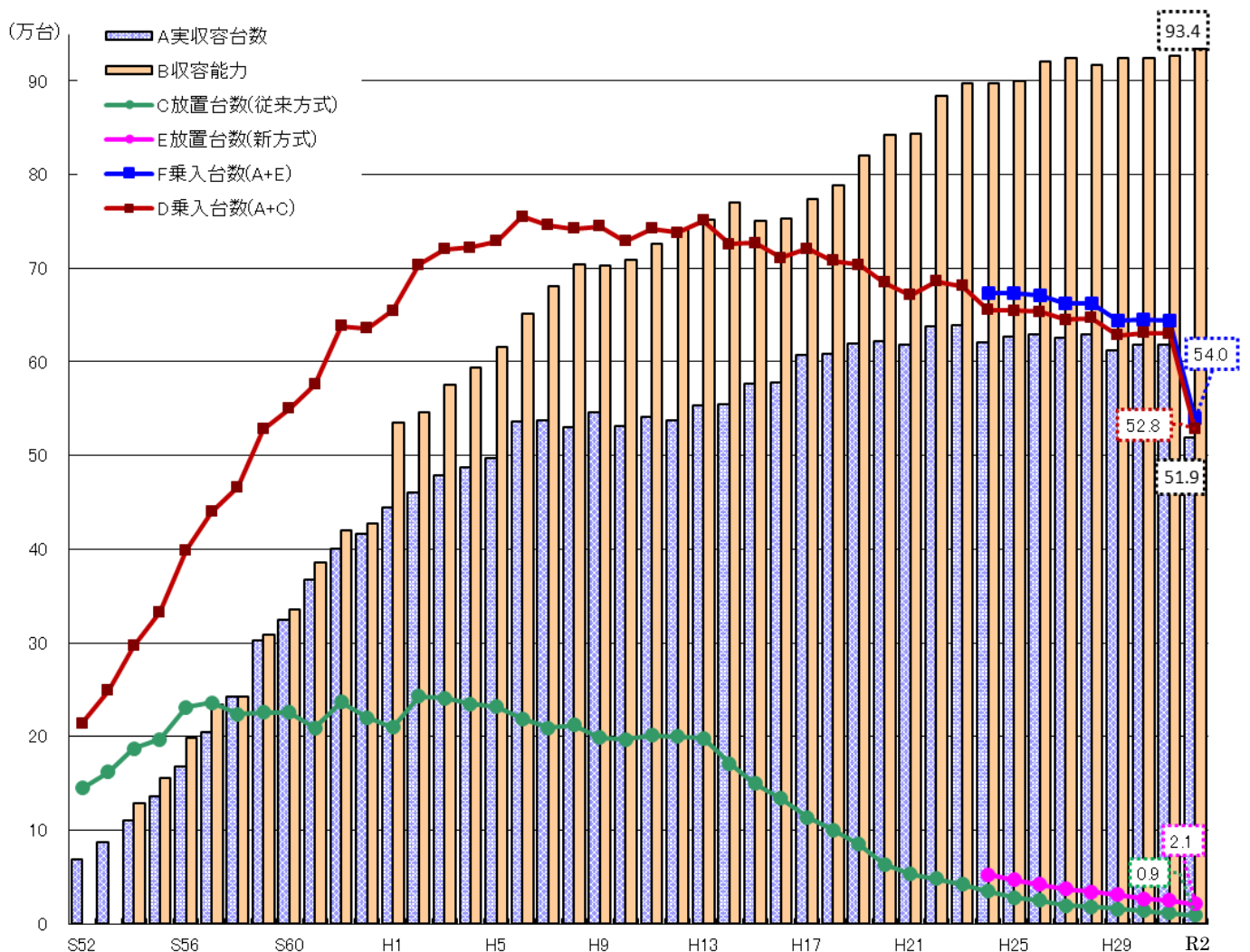
自転車、原付及び自二の放置台数は、**21,035 台**（前年度比 **3,973 台減**）でした。

うち、自転車だけの放置台数は、**19,487 台**（前年度比 **3,835 台減**）でした。

### (2) 自転車の放置率（乗入台数に占める放置台数の割合）・・・区部 5.6%、市部 0.8%、町村部 0.2%

自転車の放置率は区部が高く、高い順に、千代田区 41.7%、渋谷区 32.1%、港区 25.6%、台東区 23.9%、文京区 19.3%、でした。

【図-1】 放置台数・実収容台数・収容能力・乗入台数推移（自転車、原付及び自二を含む。）

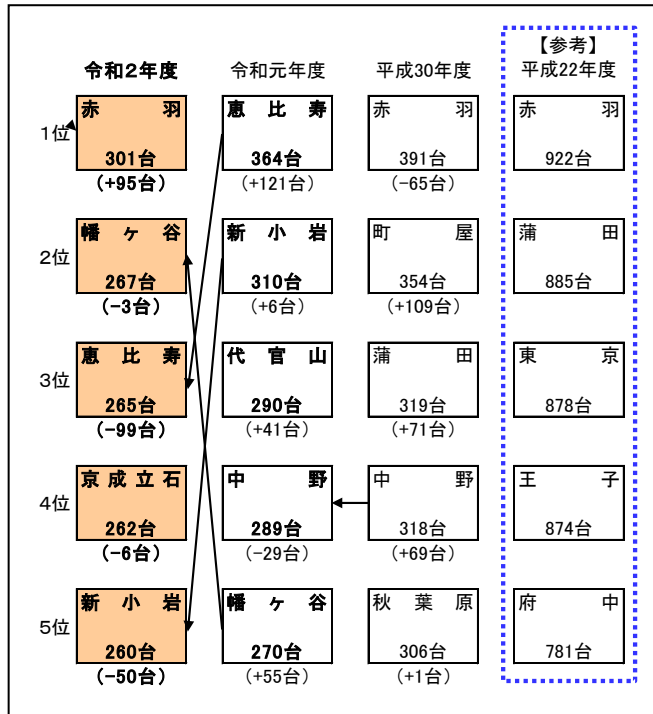


## 2 放置台数が多い駅と乗入台数が多い駅(自転車、原付及び自二を含む。)

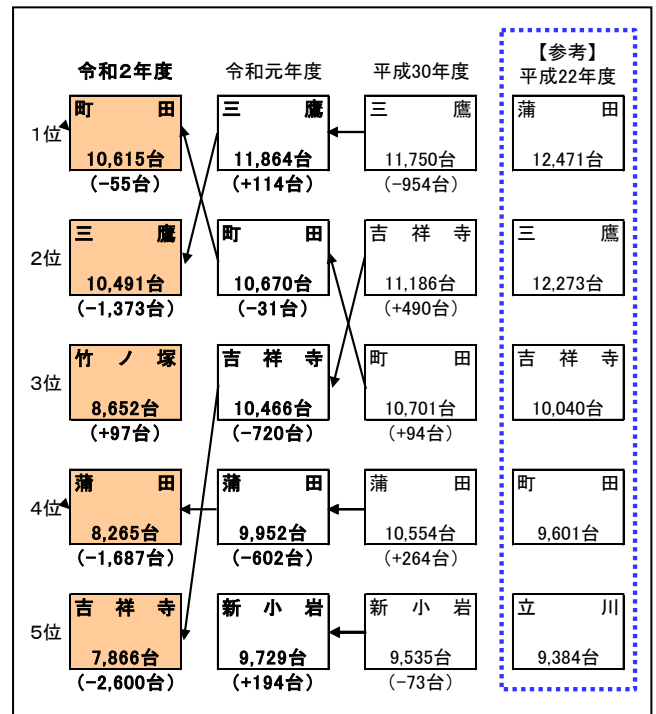
放置台数が上位の駅においても、年々、放置台数は減少する傾向にあります。

- (1) 放置台数が多い駅 図-2参照
- (2) 乗入台数が多い駅 図-3参照

【図-2】 放置台数が多い駅の推移



【図-3】 乗入台数が多い駅の推移



## 3 放置自転車等の減少に向けた主な対策

良好な交通環境を整備するとともに街の美観を確保するため、区市町村をはじめ鉄道・バス事業者、警察、商工関係団体等と連携しながら放置自転車対策に取り組んでいます。

### (1) 自転車等駐車場の設置等

令和元年度における区市町村の投資的経費（自転車等駐車場の整備等に要する経費）は、**約38.4億円**（30年度比**約6.7億円増**）でした。

### (2) 自転車等駐車場の維持管理・放置自転車の撤去等

令和元年度における区市町村の消費的経費（自転車等駐車場の維持管理や放置自転車等の撤去等に要する経費）は、**約151.2億円**（30年度比**約2.4億円増**）でした。そのうち、放置自転車の撤去、保管及び返還に要する経費は、**約43.7億円**でした。

### (3) 都内6区との協働体制

駅前放置自転車の多い6区（千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区）と放置自転車対策協議会を開催し、各区のノウハウを共有するなど放置自転車対策の一層の推進を図りました。

### (4) 駅前放置自転車クリーンキャンペーン

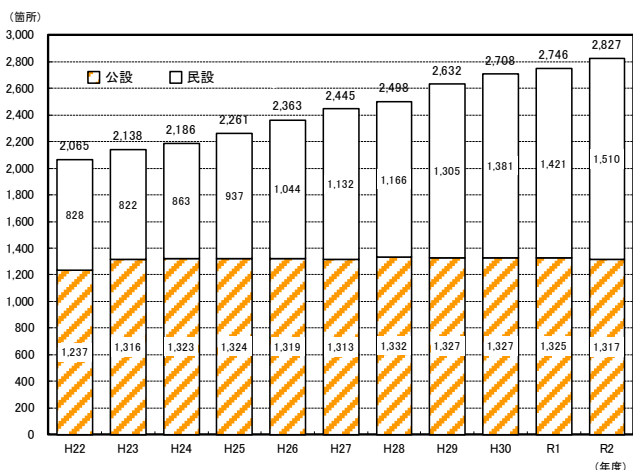
令和2年10月の「駅前放置自転車クリーンキャンペーン」では、都内各駅で放置防止を呼びかける啓発活動のほか、ポスターの掲出やウェブ広告、街頭ビジョンを活用した広報活動を展開しました。さらにキャンペーン期間中は、区市町村による放置自転車の撤去を積極的に実施しました。

- ・駅前等での広報啓発活動：76駅、延べ305日活動
- ・ポスター掲出枚数（都作成分）：約4万枚
- ・リーフレット配布枚数（都作成分）：約21万4千枚
- ・撤去活動実施：405駅

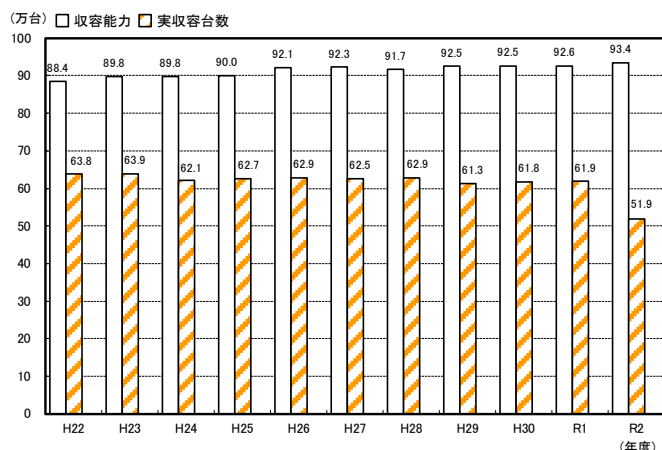
#### 4 自転車等駐車場の設置状況 【図-4、5】参照

- (1) 令和2年8月末日現在、駅周辺の自転車等駐車場は、2,827箇所（前年度比 81箇所増）でした。そのうち公設は 1,317箇所（前年度比 8箇所減）、民設は 1,510箇所（前年度比 89箇所増）でした。近年は、民間事業者による自転車等駐車場の設置が増加しています。
- (2) 収容能力は、933,764台（前年度比 7,445台増）、実収容台数は、518,963台（前年度比 99,854台減）でした。

【図-4】設置者別自転車等駐車場数の推移



【図-5】収容能力及び実収容台数の推移

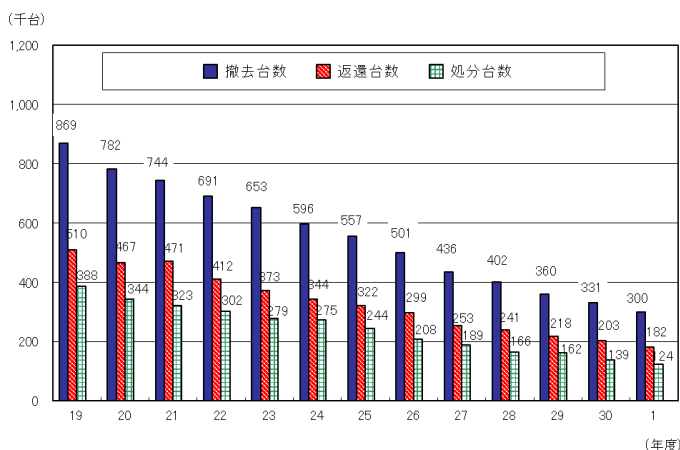


#### 5 令和元年度における放置自転車等の撤去、処分等の状況 【図-6、7】参照

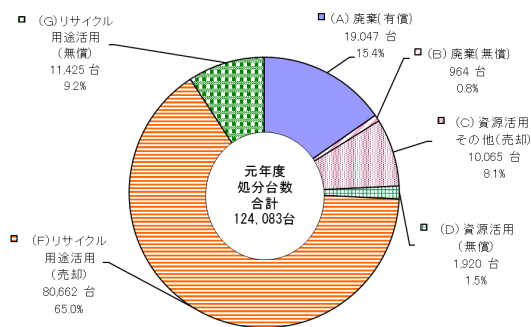
- (1) 令和元年度に区市町村が撤去した放置自転車等：300,090台（30年度比 30,967台減）
- (2) 令和元年度に持ち主に返還された台数：181,859台（30年度比 21,359台減）
- (3) 令和元年度に区市町村が処分した台数：124,083台（30年度比 14,421台減）

※ 返還台数、処分台数には、平成30年度中に撤去されたものを含みます。

【図-6】放置自転車等の撤去・返還・処分台数の推移



【図-7】撤去自転車及び原動機付自転車の処分内訳



- ・廃棄処分 (A+B)：20,011台 (16.1%)
- ・鉄くずとして資源活用 (C+D)：11,985台 (9.7%)
- ・リサイクル用途 (F+G)：92,087台 (74.2%)